

# 第 185 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 4 年 11 月 10 日（木）14:00～15:00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### ・会議の概要

#### <報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ その他報告事例として、外来医療体制整備計画の策定に向けた現状把握と課題について、保健医療部より報告があった。
- ◇ 第 7 回世界のウチナーンチュ大会でのコロナ相談窓口での実施状況報告及び急患対応について、文化観光スポーツ部より報告があった。

## 1 参加者

玉城 知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、  
宮城 総務部長、儀間 企画部長、金城 環境部長、宮平 子ども生活福祉部長、  
系数 保健医療部長、下地 農政企画統括監、谷合産業振興統括監、  
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、  
半嶺 教育長、我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、  
喜屋武 警備第二課長 宮里 感染対策統括監、  
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

欠席：照屋 副知事

## 2 報告事項

### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について【資料 1～7】

- 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。
  - ✓ 人口 10 万人当たりの新規陽性者数は、2 週間前 114.81 人、1 週間前 127 人、昨日 131.21 人と、徐々に増加している。病床使用率は 10% 台半ばで推移しており、レベル 1 相当。重症者用病床使用率も同様に 10% から 1 桁台で推移している。
  - ✓ 前週比はしばらく 1 を下回る状況が続いていたが、11/1 より 1 を超える日が続いている。直近では 1.02。

- ✓ 新規陽性者数は、昨日で 379 名となっている。本日は 348 名。
- ✓ 入院中の患者は 2 週間前 91 名だったが、その後 11/3 まで 100 を超える入院数となっていた。その後再び減少し、現在 80 名前後で推移している。
- ✓ 宿泊施設療養中の人数は 130~140 台で推移している。
- ✓ 全国の「直近一週間の人口 10 万人当たり新規陽性者数」では、1 位が北海道、2 位が山形県で、北海道、東北北信越での感染が広がっている。逆に首都圏、九州沖縄では全国平均を下回っている。沖縄県は全国で一番感染が少なく、次いで鹿児島県、高知県、福岡県が続いている。
- ✓ 沖縄県の年代別新規陽性者数の推移では、40 代が最も多く、しばらく下がり傾向だったが 10/28 の週から再び増加している。年代ごとの前週比を見ても、1 を上回る年代が増えている。
- ✓ 非コロナ病床利用率について、県全体では 93.1%となっている。沖縄本島では 93.3%となっており、95%を超えるような状況は本島では見られない。八重山では 98.1%と高い状況が続いている。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限について、直近の数字は 121 名となっており、ここ 1 週間でも 120~140 人台で推移している。就業制限の職員が急に増えるといった様子は見られない。
- ✓ ワクチン接種状況について、11/8 時点では、1 回目、2 回目ともに 70%台となっており、3 回目は 49.5%となっている。高齢者のみだと 3 回目接種は 84.9%が完了している。4 回目接種については 60 歳以上のみの集計で 59.1%が接種している。
- ✓ 追加接種（3 回目接種）年代別対象者数及び接種実績については、11 月現在の接種対象者のうち、70.6%の方が接種完了している。30 代以上では 50%を超える接種となっているが、10 代 20 代ではまだ接種が進んでいない。
- ✓ 4 回目の追加接種については、60 歳以上では 72.26%が接種しているが、60

歳未満では接種が進んでいない。

- ✓ 4回目接種（60歳以上）11市における11月末までの接種対象者の接種状況については、全ての市で60%を超えており、うち7市では70%を超える接種状況となっている。
- ✓ 出向き接種の状況、商業施設では10月に4回行っている。今後の予定として、11/5にイオンモールライカム、11/12にうるマルシェ、11/19はサンエー那覇メインプレイスでの出向き接種を予定している。
- ✓ 県庁・大学の接種では、11/2に沖縄市役所で170名に接種を行った。今後、11/16、11/22に琉球大学で、11/26に宜野湾市役所で出向き接種を行う。

## （2）県立病院の状況について

### ➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 9/28の県立病院の入院患者は15名で前回報告より8名減、前々回報告より17名減。現在沖縄県のコロナ入院患者のうち18.1%を占めている。
- ✓ 県立病院の入院患者は、北部病院2名、中部病院3名、南部医療センター4名、宮古病院5名、八重山病院0名、精和病院1名となっている。非コロナ病床稼働率は南部医療センターで96.3%と高い稼働率となっている。その他は80%台。
- ✓ 中部病院では、感染が落ち着いている今ワクチン接種を積極的に進めるため、院内での全員接種を目指し、12月初めにもオミクロン株対応のワクチン接種を開始する。
- ✓ 南部医療センターで10月に発生したクラスターは、感染者のうち入院患者1名が死亡した。他の患者及び職員は隔離解除となった。コロナ病床を最小限にして一般病床を増やしている。小児病棟ではRSウイルス感染症が増加しており、稼働率100%を超え、今後の感染拡大を懸念している。

- ✓ 宮古病院では、院内は概ね安定している。発生源の異なる患者や職員の感染者が5名いる。
- ✓ 県立病院の休業者数は、10/12で35人だったが、現在50人となっている。

### (3) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
  - ✓ 新規陽性者数は一週間で18名、前週が33名だったため、2週連続で前週比1を下回っている。発生届限定化以降、宮古では増えていたが、ここ2週間は減少傾向。ただし、昨年同時期は1ヵ月ほど発生届が0だった時期があったため、一定数出ているなといった印象。
  - ✓ 宮古での陽性者は累計で20,500人余り、島内の人口の36.3%にあたる。
  - ✓ 最近学級閉鎖の報告が2件あり、少し散見されるようになってきた。年齢層を見ると、小学校低学年、幼稚園児と30代にピークがある感じ。いわゆる親子の世代で、感染が広がる初期の状態かもしれない。
  - ✓ 施設の発生状況は、週に8施設から報告があった。前回は週に3施設だったため、やや報告数が増えている。施設内での療養者数は1名。過去最高は67名だったため、少ない数に抑えられている。
  - ✓ 最近はクラスター率が減少している。4回目のワクチンが影響しているのかもしれない。
  - ✓ 今後高齢者施設での発生が予想され、冬に向けて準備しているところ。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
  - ✓ ここ一週間の発生患者数は94となっており、前週比1を超えているが、うち41件は発生届限定化の際の漏れであり、先週とほぼ同数。陽性者の約1割が発生届の対象となっている。

- ✓ 10歳未満が1番多くて20%台、40代も同じくらい。次いで10代となっており、2週間ほど同じ傾向。65歳以上の高齢者については、4%ほど。通所施設などのクラスターはここ数週間見られておらず、かなり落ち着いている。
- ✓ 宿泊療養施設の利用者は7名。うち3名は旅行者。11/8に小浜島からの高速船での患者移送があった。
- ✓ 9/26以降の届出対象者について、竹富町1人、与那国町は0人、2次離島での療養者はほとんどいないと考えられる。
- ✓ 保健所の体制については、かなり落ち着いており、土日祝日は2名体制で対応している。

#### (4) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況【資料8】

##### ➤ 文化観光スポーツ部より報告

- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、10/31の週の受検者は1,363名で、前週比39名。内訳は、県内在住者1,185名、県外在住者178名、陽性者は14名で、陽性率は1.0%となっている。うち発生届対象者は1名。
- ✓ 久米島空港については、10/31をもって事業終了となっている。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、受検者は415名。前週比-116名。うち県内在住者176名、県外在住者239名、抗原検査陽性は0名であった。
- ✓ TACOについて、10/31の週の電話対応件数は51件で、うち健康相談・問診実施数は14件となっている。

#### (5) 質疑応答

- ✓ ワクチン接種について、1回目、2回目は105万人が接種しており、3回目接種は73万人が接種している。3回目未接種の約30万人にオミクロン株対応ワクチンの接種を進めていくことが必要であり、2価ワクチン接種状況について

確認できるような資料を準備してもらいたい。

また、ワクチン接種の期間が従来の5か月から3か月に短縮したが、周知が行き届いていない様子なので、周知方法を検討してもらいたい。

→オミクロン株対応ワクチンの接種状況が分かるような資料について、本部会議に準備できるよう整える。ワクチン接種の接種期間が短くなったことについて、周知が十分行き渡るように介護施設あるいはエッセンシャルワーカー向けの周知方法を考え対応したい。

### 3 その他

#### (1) 外来医療体制整備計画の策定に向けた現状把握と課題

##### ➤ 総括情報部より説明

- ✓ 令和4年10月17日付け国の事務連絡により、今冬の新型インフルエンザ感染症とインフルエンザの同時流行に備えた外来医療体制整備計画の策定依頼があり、作成のため、診療・検査医療機関に対し、診療能力把握のためのアンケートを行った。
- ✓ ピーク時における外来医療体制の課題としては、土曜及び日曜祝日の診療能力を増加させることが挙げられた。
- ✓ 現状考えられる対策として、発熱外来にたいして、土曜及び日曜祝日の開院について協力を依頼すること、県医師会及び地区医師会に対して、臨時診療所の開設について協力を依頼すること、医療機関に対して、県医師会及び地区医師会と連携し、発熱外来への参加を呼び掛けること、県民に対し、軽症時に新型コロナ抗原検査キットによる自己検査と、陽性者登録センターの活用を促すことが挙げられた。

#### (2) 第7回世界のウチナーンチュ大会におけるコロナ相談窓口の実施状況報告及び急患

## 対応について

### ➤ 文化観光スポーツ部より報告

- ✓ 10/30 から 11/3 において開催された第7回世界のウチナンチュ大会において、コロナ相談窓口の設置し、ウチナンチュ大会参加者からの相談を受けた。  
11/9 時点で、1 件の感染事例、1 例の感染疑いが報告されている。
- ✓ 1 件目は感染疑い例で、抗原検査キットで陽性後、ホテルにて自主隔離。無症状で体調は良好。療養期間後帰国予定。
- ✓ 2 件目は感染事例で、那覇市保健所より陽性の確認がなされ、サポートの依頼があった。県の宿泊療養施設で療養し、待機を解除。  
3 件目はコロナではなかったが、閉会式の急患での対応を行った事例。医療機関へ搬送され、その後退院。

## (3) 質疑応答

### ➤ 特になし

閉 会